

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 群栄化学工業株式会社

コード番号 4229 URL <http://www.gunei-chemical.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有田 喜一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部門長 (氏名) 有田喜一郎

TEL 027-353-1810

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	4,598	△26.7	△90	—	△58	—	△173	—
21年3月期第1四半期	6,273	—	294	—	312	—	217	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△2.42	—
21年3月期第1四半期	2.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	45,554	33,276	71.4	463.14
21年3月期	45,380	33,106	71.3	460.75

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 32,532百万円 21年3月期 32,368百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	1.00	4.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

22年3月期の配当予想額は未定であります。[詳細は2ページ ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項をご覧ください。]

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	8,900	△28.4	△130	—	△100	—	△150	—	△2.09
通期	19,000	△14.7	350	—	500	—	300	—	4.18

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

[除外 3社 (社名 群栄商事株式会社、群栄ボーデン株式会社、日本カイノール株式会社)]

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	89,983,085株	21年3月期	89,983,085株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	18,134,846株	21年3月期	18,128,271株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	71,852,134株	21年3月期第1四半期	72,843,981株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断及び仮定した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

また、配当予想につきましては、現在の経済状況下での当社を取り巻く経営環境は先行きの不透明感が強いいため、見通しが非常に困難であるのが現状です。配当予定額が固まり次第早期開示に努めてまいります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、輸出、生産は持ち直し、大企業を中心に足元の景気は下げ止まり感を見せているものの、企業のコスト削減、設備投資と雇用の調整等は引き続き避けられない状況であり、先行きの不透明感は払拭できない状況であります。

このような状況のもと、当社グループは、平成21年4月1日を期日に子会社3社を吸収合併したことを機に、製・販・技一体としたユニット制を導入し、販売体制の合理化を図り積極的な営業活動を行ってまいりました。

化学品事業においては、電子材料向け樹脂が中国特需等により海外向けで需要が回復しつつあるものの、自動車関連及び住宅関連向け樹脂の回復が遅れるとともに在外子会社も低調に推移いたしました。

食品事業においては、夏場に向け飲料向け製品が好調に推移いたしました。

この結果、食品事業において増収となったものの、化学品事業が大きく減収となり、当社グループの売上高は4,598百万円と前年同期に比べ大幅な減収となりました。

利益面では、合併の効果により一部コスト削減に努めてまいりましたが、売上高の減少、新工場稼動に伴う減価償却費等の経費増加により前年同期に比べ大幅な減益となりました。この結果、当社グループの利益は90百万円の営業損失、58百万円の経常損失並びに173百万円の四半期純損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ173百万円増加し45,554百万円となりました。これは主に売上債権及び棚卸資産の減少があったものの、短期の有価証券の増加と有価証券の時価が上昇したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4百万円増加し12,278百万円となりました。これは、借入金の返済がありました。設備関係未払金が増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度に比べ169百万円増加し33,276百万円となりました。これは、配当金の支払及び四半期純損失を計上したことにより資本剰余金及び利益剰余金が減少しましたが、有価証券の時価上昇によるその他有価証券評価差額金が増加し、在外子会社のマイナスの為替換算調整勘定が減少したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績の変動については、現時点では想定されないことから、平成21年5月15日発表の通期予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(主要な関係会社の異動)

前連結会計年度末において、当社の連結子会社であった群栄商事株式会社、群栄ボーデン株式会社及び日本カインール株式会社は、平成 21 年 4 月 1 日付で当社が吸収合併したため、消滅しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第 1 四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降の経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,602	4,554
受取手形及び売掛金	5,011	5,485
有価証券	2,799	2,288
商品及び製品	1,433	1,656
仕掛品	15	17
原材料及び貯蔵品	568	602
その他	511	705
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	14,942	15,309
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,851	19,612
減価償却累計額及び減損損失累計額	△12,062	△11,925
建物及び構築物(純額)	7,789	7,686
機械装置及び運搬具	23,311	22,716
減価償却累計額及び減損損失累計額	△18,513	△18,142
機械装置及び運搬具(純額)	4,798	4,574
土地	7,639	7,639
リース資産	28	25
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3	△2
リース資産(純額)	24	22
建設仮勘定	11	67
その他	2,364	2,360
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,950	△1,919
その他(純額)	413	440
有形固定資産合計	20,676	20,431
無形固定資産	356	363
投資その他の資産		
投資有価証券	9,029	8,763
その他	923	887
貸倒引当金	△167	△169
投資損失引当金	△204	△204
投資その他の資産合計	9,579	9,276
固定資産合計	30,612	30,071
資産合計	45,554	45,380

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,317	2,293
短期借入金	2,600	2,600
1年内返済予定の長期借入金	1,400	1,400
未払金	1,752	1,599
未払法人税等	43	44
賞与引当金	62	135
その他	139	56
流動負債合計	8,315	8,128
固定負債		
長期借入金	2,475	2,775
退職給付引当金	961	955
環境対策引当金	6	6
負ののれん	71	77
その他	449	331
固定負債合計	3,963	4,145
負債合計	12,278	12,273
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	25,905	25,977
利益剰余金	6,415	6,589
自己株式	△4,703	△4,701
株主資本合計	32,617	32,864
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	167	△185
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△253	△310
評価・換算差額等合計	△85	△496
少数株主持分	743	738
純資産合計	33,276	33,106
負債純資産合計	45,554	45,380

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	6,273	4,598
売上原価	5,201	4,030
売上総利益	1,071	567
販売費及び一般管理費	776	658
営業利益又は営業損失(△)	294	△90
営業外収益		
受取利息	42	33
受取配当金	14	3
負ののれん償却額	6	6
持分法による投資利益	2	—
その他	8	11
営業外収益合計	75	54
営業外費用		
支払利息	23	18
持分法による投資損失	—	0
為替差損	21	—
その他	11	3
営業外費用合計	56	22
経常利益又は経常損失(△)	312	△58
特別利益		
償却債権取立益	20	—
貸倒引当金戻入額	0	0
特別利益合計	20	0
特別損失		
固定資産処分損	7	15
役員退職慰労金	3	—
特別損失合計	10	15
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	322	△73
法人税、住民税及び事業税	39	14
法人税等調整額	22	63
法人税等合計	62	78
少数株主利益	42	21
四半期純利益又は四半期純損失(△)	217	△173

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)
該当事項はありません。